

# 『やない白壁・ウエルビーイング』

柳井市白壁の町並みを守る会会長

木阪 泰之

去る5月29日(月)18時より、時間、規模ともコンパクトとはいえ昨年より時間にゆとりを持って無事総会を開催することが叶いました。各方面よりご提言等多数頂戴し心より感謝申し上げます。今年度の指針は

「不惑前年く町並みSHOW・継ぐ小さくともキラリと光る尖った町並みで在り続けよう」です。

今回の挨拶文のタイトルにもある「ウエルビーイング」を意識しています。ウエルビーイングとは、個人の幸福感や生活の満足度を指す言葉で、身体的・精神的な健康、社会的な関係の質などを含む総合的な概念です。

豊かなウエルビーイングを感じられる

## 第九十五号

柳井市白壁の町並みを  
守る会  
事務局(皿田治)  
Tel. 090-1012-4204

町並みを守り続け、その魅力を輝かせるために努力すべき時代の流れを感じています。来年は、重要伝統的建造物群保存地区に選定されて40周年という節目の年を迎えます。とても良い機会ですので、まず会員の増強活動を通じて、地域の人々が参加しやすい環境づくりを目指したいと思います。

町並みに関心を寄せる方々を募集し、共に町並みの魅力を追いかけていきたいと思います。ウエルビーイングを感じられる町並みで暮らす、起業する土壌を築くことが重要です。



総会后、出席者の集合写真

また、総会や役員会の開催を通じて、会員の皆様の声を反映させた活動計画も進めます。

意見交換や情報共有を通じて、参加者一人ひとりがウエルビーイングを感じられるような会の運営を心掛けます。

視察旅行や交流事業も、ウエルビーイングの要素を含めた計画を進めます。先日、伝建地区の丹波篠山全国大会(5月22日〜23日)も然り、青森県弘前(8月2日〜4日)との交流でも、地域の文化や伝統を体験し、新たな発見と感動を共有します。ウエルビーイングを追求するためには、他地域との交流や学びが欠かせません。情報収集にも力を入れ、地域の人々に役立つ情報を提供します。7月25日には、山口県観光スポーツ文化振興課、(株)FRASCO主催の『お宝TRIP 文化観光&講演会も相談会』(山口県政資料館)に出掛けて参ります。

地域のニーズやトレンドを把握し、適切なサポートを行うことで、地域全体のウエルビーイングの向上に貢献します。引き続き、柳井市白壁の町並みを守る会の運営に関しまして、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 第二十三回七夕まつり開催

今年もやって来ました。二十三回目となる白壁の伝統行事。竹取りの予定日は朝から雨模様。

方々から実施するかどうかの確認の電話がかかって来た。テレビやネットの天気予報を再度確認。七月七日の七夕の日まで雨の降らない予想は二日と四日のみ。二日は休日なので市役所と会議所職員さんの動員が難しいので延期するには四日しかないが、それでは七夕まつりがあまりにも短期間で終わってしまう。



「ええい、ままよ。決行しよう。」とさんざん迷った末決断。これまでもとは違う新たな竹林で作業を開始するも雨



はますます強くなるばかり。二十三本切りだす前には雨具を着て行ったのにもかかわらずパンプスの中までびしょ濡れの状態に。七夕は神様の機嫌

を損ねた織姫と彦星が川を隔てて離れ、改心して真面目に働けば一年に一度だけ天の川で会える故事が起源となっており再会のうれし涙と別れの涙のため絶対に雨が降ると云う。確かにこれまでの二十二回、雨の降らなかつた経験はないのだ。

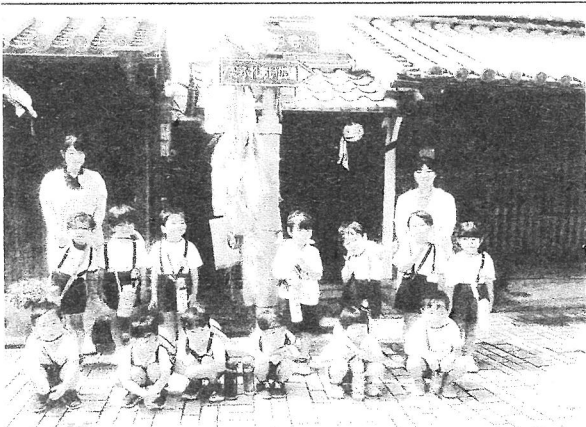
期間中大雨と大風にたたられて三本の竹が折れて倒されその都度緊急修理に雨の中出勤。

いつも撤去作業をする八日は週末となるため十日に実施。この日も雨が降り清掃車で笹竹を撤去に来た市役所の職員さんには大迷惑をかけてしまつた。期間中、某幼稚園の父兄さんから

子供がせっかく一生懸命作った短冊が笹竹にないのでどこかに保管してないかの問い合わせあり。大雨のため落ちてしまった短冊をできるだけ再度飾るようにつとめたが原形をとどめない多くの短冊を救出できなかったことが悔やまれる。「○○ちゃん、ごめんなさいね。」

当日集まったボランティアは男性九名女性六名の総勢十五名。

以下に団体名を記し謝意を表したい。(敬称略) 柳井市役所生涯学習スポーツ推進課、同都市計画建築課、同商工観光課、柳井商工会議所、中央商店街振興組合、柳井縞の会、自遊倶楽部



第45回全国伝統的建造物群  
保存地区協議会総会・研修会

柳井市教育委員会生涯学習・スポーツ推進課

松林 日菜子

5月22日、23日に兵庫県丹波篠山市で開催された、第45回全国伝統的建造物群保存地区協議会総会・研修会に出席いたしました。昨年度は行政職員の募集しもなく1人で広島県呉市に伺いましたが、今年を守る会代表として木阪さんにご参加いただき大変心強かったです。今回は、私がこの2日間を過ごす中で皆様に共有したいと思ったことをお話できればと考えています。

○保存地区内でのイベントについて

篠山まちなみ保存会の方とお話する機会があり、篠山地区ではどんな催しをされているか尋ねてみました。黒豆を代表とする地域の特産品を使った食のイベント、アートフェス、マルシェなどを挙げてくださいましたが、「イベントごとで客層が全然違う。」と仰っていたことが印象的でした。様々な切り口の催しを

行うことで、より多くの方に柳井を知ってもらおうきっかけになるのではと考えました。

○学校と保存地区の連携について

篠山地区見学の途中で、地元の小中学生が保存地区や丹波篠山市についてクイズを出題する場面がありました。選択肢や正解発表のやり方にユーモアがあり、とても素敵な発表でした。古市金屋地区でも小・中学生の郷土学習の中で連携がで



クイズを出題する丹波篠山の小学生

きないか模索していきたいと思えます。

○古市金屋地区の強みについて

全国の参加者の方とお話したり、講演を聞いたりする中で、古市金屋地区の面積と物件密集度は強みになるのではないかと考えました。当地区の面積は1.7haであり、全国の伝統的建造物群保存地区の中では3番目に小さい地区です。ネガティブに捉えがちな特徴ですが、他地区は広さがある分保存物件が点在している状態の把握が難しかったり、景観を損ねるような新物件を無断で建てられてしまったりする例があるそうです。その点古市金屋地区は保存物件がほとんど隣り合っているため変化に気づきやすく、密な連携が可能です。また完全な空き家がほとんどない地区も珍しいそうです。来年は保存地区選定40周年を迎えます。市外の方に古市金屋地区を広める機会であることはもちろんですが、特に市内の方に伝建制度のことや町並みの魅力について改めて知っていただく機会にしたいと考えています。皆様のお知恵を借りることもあろうかと思いますので、引き続きよろしくお願いいたします。



# 柳井の地図絵図

岸田稔明

## 第三十八回 柳井港改良工事平面図

(山口県文書館蔵)

今回は、山口県文書館所蔵の「柳井港改良工事平面図」を取り上げる。

この図面は、山口県文書館に所蔵されている「柳井港改良費補助」に附属しているものである。なお、ここでの「柳井港」は、北浜にある「柳井西港」のことである。

柳井西港は、文政十三(一八三〇)年中開作南端(北浜)に完成した。明治期に現在の柳井港駅前に柳井港(東港、岸の下港)ができる前は、柳井市街地に近い唯一の港であった。しかし、位置が柳井川と片野川の河口部にあたるため、川の土砂により年々埋没がひどくなり、満潮時以外は小舟すら出入りできなくなっていた。

また、漁獲物、加工品(イリコ等)は大



島に集まっていたが、急行列車は柳井津駅(現柳井駅)にしか停車しないため、大島港で積み替えて柳井津駅

へ陸送している状況であり、漁船を碇泊させる設備の整った港がなかった。

そこで、北浜の浮湊(松ヶ崎波止)から延長二百八十間、幅六間の連絡道路を海に向かつてつくり、先端には階段と傾斜のついた荷揚場や防波堤をつくる計画を立てた。

起工式は、大正十二(一九二三)年四月二十日に挙行された。当時の絵葉書では、起工式や祝賀行列の様子などが分かる。

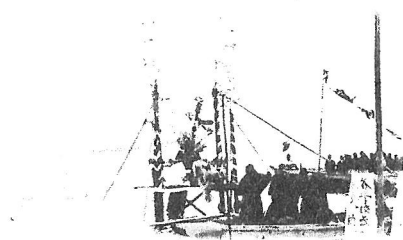
着工後、数回にわたり計画変更された。今回掲載の図面は、第五次変更(昭和二年十一月)のもので、当初計画から防砂堤五十間が追加されている。

港内を平均一・五メートル浚渫して水深二メートルを確保し、浚渫土砂を埋立に活用した。当初は三年間の工事予定であったが、六年経過した昭和四(一九二九)年六月にようやく完成した。

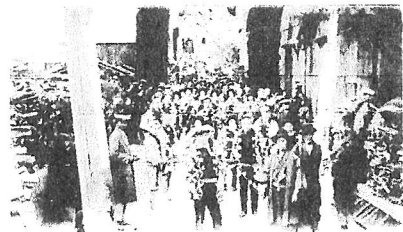
完成当時、この港と祝島、小松開作、沖浦、安下庄、油宇、三蒲、椋野、久賀、平野、浮島、伊保田、沖家室など、上関や屋代島(周防大島)を結ぶ機船が一日十四便発着してい

た。大阪との間にも機船が月十二便あり、その他にも小型貸切機船が数隻あった。現在、荷揚場は使われておらず、国道一八八号新柳井大橋の橋脚が設置されているが、階段の痕跡は残されている。

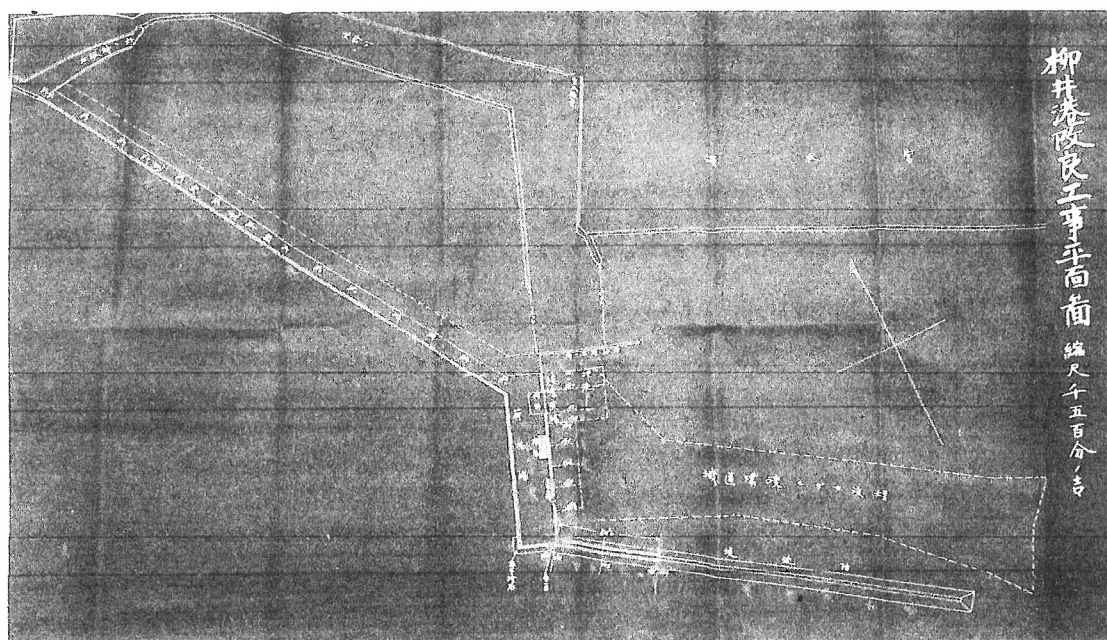
【柳井港改良工事平面図(山口県文書館蔵)】



【柳井築港起工式ノ景(絵葉書)】  
(馬関毎日新聞柳井支社発行)



【柳井築港起工式当日  
北浜区ノ祝賀行列(絵葉書)】  
(馬関毎日新聞柳井支社発行)



柳井港改良工事平面図 縮尺千五百分ノモ

# 商都柳井の歴史 その廿二

松島 幸夫

## 柳井津商人の心(一)

### 我が子孫の繁栄を願う

#### 1 豪商であり続ける秘策

「栄枯盛衰」は世の習い。永遠に繁栄が続くことはありません。「分限者は三代続かない」とも言われます。豪商たちは築き上げてきた店を、子孫たちが崩すことのないよう願いました。信用の継続、経営の合理化、商圏の拡大など、取り組むべき課題は多々あります。中でも最も大切な課題は、後継者に望ましい資質を身に付けさせることです。才長けて、高潔な人格を備え、雄々しく果敢に難問に挑戦する子孫を育成したいと考えました。



た。豪商たちは子や孫を如何に育てるか、を真剣に考えました。

#### 2 大野屋の子育て

どの商家にも子育ての方針があったでしょうが、土手町の大野屋の7代目・大野清三郎は「子孫幼少のときより教えかた」との文を著わして、家庭教育の方針を明確にしています。大野屋は藍染業を生業としながら、御高札守護役も勤めていました。御高札守護役とは、岩国藩府からの命令文を姫田川横(亀岡橋北東詰)の柳井代官所前に高く掲げる任務です。商人仲間はもちろん為政者からも、絶大な信頼を得ていたことが分かります。「子孫幼少のときより教えかた」に書かれている内容を見てみましょう。

- 一、幼児期は太鼓などの芸能に触れさせ、舞や芝居を見させ、流行歌などを唄わせるとよい。そうすれば自然と知恵が付く。
- 一、7歳になったら、寺子屋に通わせて文字を習わせ、読書をさせる事。また算盤で、九九計算や割合の計算に熟達させる事。その際に商売の実例を提示して計算させる事。
- 一、将棋を習わせ、「商売往来(商売の心得書)」の本を読ませ、道徳を呑み込ませよ。また唐詩選を読ませて、屏風やふすまの書を理解できるようにする事。ただし四書五経を学んで学問好きが過ぎると、商いの道を忘れて店は衰微する。
- 一、他人を批判したら注意する事。
- 一、親孝行の教えを身に付けさせる事。
- 一、客の立場を体験させる事。
- 一、付き合い程度の小唄を稽古させる事。
- 一、行儀作法、袴や袴や脇差の着用、俳諧を身に付けさせる事。

- 一、包み方、投げ入れ生花の流儀を習得させる事。
- 一、碁や将棋を習わせるが、上手にすると店が衰微する。
- 一、茶の湯は、たて方はもちろん、席の居すまい、飲み方も習わせる事。
- 一、稽古ごとは招かれて失礼のない程度に留め、家業に役立たない稽古は禁止。

- 一、酒は飲み手の品位が表れるので、心して呑むべし。「上戸は良い」との教えは誠にそうであって、酒は陰気を晴らし、薬になり、他人との交流を深くしてくれる。しかしながら飲み手の心が卑しいと、大悪の手引きになるので慎むべし。「二杯は人が酒を呑み、二杯は酒が酒を呑み、三杯は酒が人を呑む」と言い伝えられているので、飲食を過ごして正気を失ってはいけない。酒で身を亡ぼすことがある。
- 一、女子へは、物柔らかに言い教えるべし。7・8歳になったら、寺子屋へあげ、かな文字を習わして人名や場所を習得させる。「女大学(女の心得書)」や百人一首や行儀作法を習わせる。外出を控え、裁縫を熟練させる。小唄、三味線、琴の稽古は少々に留める。
- 一、「人は善悪の友によつて成る」の教えとおり、朱に交われれば赤くなる。悪しき友には交わらぬこと。

以上、大野清三郎が記した「子孫幼少のときより教えかた」を紹介しました。社会構造が変わったものの、現在の我々にも参考になることが書かれており、最初から最後までを紹介しました。とくに酒の飲み方について、全く同感です。「飲食を過ごして正気を失った」ことのある私としては、恥ずかしいかぎりです。

# 資料館便り

## 『第十回松島詩子の名曲を歌う会』

副会長 山近 絹代

多くの方が待っていて下さった「松島詩子  
の名曲を歌う会」を4月28日に四年ぶりに開  
催することができました。

昭和63年に松島詩子さんが自叙伝「マロニ  
エの道六十年わが心の星・歌」を上梓された  
ことを記念して、翌年から「サザンセト歌の  
カラオケ大会」がサンビームやないで開催さ  
れました。

その時初めて松島詩子さんの生の歌を拝聴  
して、音響でごまかさなない実力のある歌声、  
その歌から伺える人柄の良さに心打たれまし  
た。

柳井中学校の校歌を作曲されているご縁で  
学校を訪問された時に、私の息子が歓迎の挨拶  
をすることになり、松島さんの事をよく知  
る方の話を伺ったりして、彼女のことを知る  
につけ、何と秀逸な方だろうと改めて感しま  
した。

その十八年後に、松島詩子記念館に勤める  
ことになり、その時の思いが甦り、松島さん  
の素晴らしさを多くの方に伝えたい、そのた  
めに記念館をPRしたいという思いが沸々と

わいてきました。そのために何かできない  
かといういろいろな方と相談してコンサートを  
企画しました。様々な方の協力をいただき、  
市の援助もあり、松島さんの没後19年を記  
念して平成23年に第一回を開催しました。  
令和2年に第十回を予定し、松島さんの  
ご子息の内海輝男さんを東京からお招きす  
る予定でした。ところがコロナ禍で中止と  
なり、延期となっていた会がようやく今年  
開催の運びとなりました。

内海さんに開催の連絡とご出席の依頼を  
したところ、残念なことに体調不良とのこ  
とで、今年は叶いませんでした。内海さん  
も大変残念がられ、何度も電話で連絡をい  
ただき、「よろしく願います。」と託さ  
れました。第一回から送っていただいでい  
る内海さんからのお花を今回来場の皆さん  
にお配りして、少しですがそのお気持ちを  
お伝えしました。

代表曲「マロニエの木陰」にちなみ、記  
念館の前庭に植えられているマロニエも、  
今年も開催日に綺麗に咲き誇っていました。  
いつもと変わらない満員のお客様、ご縁あ  
りボランティアで参加してくださる歌手の  
谷本耕治さんと伴奏者の皆さん。たくさん  
の方々のご協力のおかげで第十回を迎える  
ことができました。本当にありがとうございました。

### 令和5年度第1四半期 柳井市町並み資料館入館者数

	令和5年/4月~6月	令和5年6月現在累計
町並み資料館	3,320	310,811
	前年同期比 82%	
松島詩子記念館	875	111,981
	前年同期比 79%	

#### 【編集後記】

★これまで色々な場所で暮らしてきた。東京、新潟、サンフ  
ランシスコ、パリ。どの都市もそれなりに魅力があったがこ  
の歳になってみるとここ柳井が一番好きだ。ふるさとを離れ  
てみて初めてふるさとの良さを実感できる。それは木阪会長の  
云われる豊かなウエルビーイングを感じられる町並みに住  
んでいるからなのだろう。

★約3年前に亡くなった母は星を見るのが好きだった。一年  
の内何回か伊保庄の天文台で実施される星を観る会の常連で  
恐らくいつも参加者の中で最高齢であったのは間違いない。  
この頃の夜空の観どころは何と云っても夏の大三角形だ。白  
壁通りに20本の七夕が立った。晴れた星空を見上げるとこ  
と座のベガ(織姫)とわし座のアルタイル(彦星)が美しく  
輝いていた。  
(事務局 皿田)